

## 特別公開講座（一般公開）

12月10日（金）第1会場（1階 中ホール・大地）17:00～19:00

### HIV 発見者 —モンタニエ博士と語ろう— 今を生きる

学会長の挨拶

三間屋純一

大学関係者挨拶

ピアノコンサート

徳江陽子

曲目：POLONISE op. 53（英雄ポロネーズ）ショパン

PRELUDES（前奏曲より）ドビュシー

La fille aux cheveux de lin（亜麻色の髪の乙女）

La Cathedrale engloutie（沈める寺）

RHAPSODY IN BLUE（ラプソディー イン ブルー）ガーシュイン

世界と日本のエイズの現状

木原正博（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野 教授）

学生時代の思い出

エイズウイルスの発見

エイズ研究

モンタニエ博士

（エイズウイルス発見者、パスツール研究所教授、世界エイズ研究予防財団 理事長）

学生たちとモンタニエ博士の Q&A

■司 会：林 幸泰（世界エイズ研究予防財団 日本事務所 代表）

未来ある若人へ

2004 年は、エイズウイルス HIV 発見から 20 年の節目の年であります。エイズの原因である HIV の発見は、患者さんのみならず、エイズ治療・研究に携わる私たち医師、研究者に対して大きな進歩を与えてくれました。その中でも薬の開発は、素晴らしい成果となり、エイズ患者さんのウイルス量を劇的に減らすことができるようになりました。又、世界的に見ても、日本はエイズ患者、HIV 感染者に対して病院医療体制が確立しております。

しかし、この 20 年間エイズの特効薬である予防教育に関してはおろそかにされてきました。結果、日本は先進国では唯一エイズ患者、HIV 感染者が増加している国であります。今回、この富士の国静岡に、HIV を発見し、研究と予防教育活動をライフワークとしていらっしゃるモ

---

ンタニエ博士をお招きして、静岡の若人と語らい、その成果を今後の予防活動の20年として  
いきたいと思ひます。皆様の参加をお待ちしております。

■主 催：世界エイズ研究予防財団

■共 催：第18回日本エイズ学会学術集会・総会

■後 援：ユネスコ、フランス大使館、静岡新聞社、静岡放送、国立大学法人静岡大学、  
静岡県内「22大学緩やかな連携」

■協 賛：大里研究所、SSLヘルスケアジャパン（株）